



共通事業本部 環境部  
技術士（建設部門）平田康明

この度、弊社で受注いたしました「平成 23 年度 一般国道 5 号長万部町豊野道路周辺現況調査外一連業務」におきまして、平成 24 年度 北海道開発局優良工事等表彰（部長賞：業務部門）を受賞することができました。この場をお借りし、関係各位に厚く御礼申し上げます。

以下に本業務の内容を紹介させていただきます。

本業務は、八雲道路事務所管内の 5 つの地区で異なる内容の事業計画あるいは施工実施にあたり環境調査を実施したものであります。

国道 5 号ではうち 3 つの地区を対象としており、長万部町の豊野地区では橋梁の拡幅架け替え計画に伴う、魚類・植物の現況把握と影響予測を行いました。

森町の姫川地区では橋梁の箱桁の補修点検時にコウモリ類の集団ねぐらが見つかったことから、どのような種類のコウモリが・どういう目的で・いつ利用しているかを調査し、補修作業に向けた保全の検討を行いました。

同じく森町の赤井川地区では国道の拡幅計画に伴い、排水路の水質に関わる現況調査を行い、関係者協議のための資料を作成しました。

国道 230 号では、今金町宮島地区（国縫道路）事業で過年度に保全対策を行った重要動植物種や、コウモリ類の集団ねぐらについて追跡調査を行いました。コウモリ類の集団ねぐらについては、過年度に設置した対策工（バットボックスやネット）の利用が確認されました。これは道南地域では保全対策の効果が確認された初めての事例となり、今後類似の事例での活用が期待されます。

国道 277 号鉛川地区では、線形改良工事の実施に伴う河川の切り替え工事が発生することから、大型猛禽類の利用状況を確認しました。遊楽部川水系ではこれらの猛禽類が冬季に餌となるサケ・マスを求めて多数飛来することから、工事の影響が危惧されていました。現地調査の結果から、12 月後半以降は当該地区での利用が大きく減り、工事の影響が少なくなると判断できたため、施工が可能となりました。

このように、本業務は八雲道路事務所管内での様々な地域で、事前調査から実施中のモニタリング、事業後の追跡調査まで幅広く対象としたものでした。業務の遂行にあたっては調査対応や打合せ、資料作成での迅速かつ確実な対応を心掛けたことが、事業の円滑な実施に寄与したものであるとして今回の評価につながったものと考えております。業務担当者一同、この受賞を励みに今後も「顧客の信頼と満足」の向上に努めて行く所存です。

最後に、本業務の実施にあたり、ご指導とご協力を頂いた八雲道路事務所の皆様と関係職員、また、現地調査を含めたご指導を頂いた帯広畜産大学の柳川久教授に、重ねて厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。